

M.I. 社会システム学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

理由は 3 つあります。

まずは大学入学前から韓国に興味があったことです。高校時代から KPOP にはまったのですが、最初は簡単な単語しか知りませんでした。ですが、大学で韓国語の授業を受けていくうちに韓国語を学ぶ楽しさを感じ、実際に現地に行って学びたいという気持ちが強くなっていきました。

2 つ目は自分のスキルアップのためです。私は英語が全くと言っていいほど出来ません。なので、自分も何か自信をもって出来るといえるような言語を身に付けたいと思い、少し知っていた韓国語を選択しました。

3 つ目は自己成長に繋がると考えたからです。私は 20 年間、親と一緒に過ごして親に頼ってばかりでした。しかし、一人で半年間生活することで、問題が起きても自分一人で解決する力や異文化適応能力、また、色々な国の人と話すことで価値観が広がったりするのではないかと思います、留学したいと思うようになりました。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

私は部活に所属していたこと、1 時間半以上かけて通学していたこと、それに加えて留学のためにバイトもしていました。正直、時間がない中留学の準備をするのはとても大変なことでしたが、むしろ私はこれをプラスな考え方に変えて、電車や徒歩などの通学時間の利用や家に帰ってから短時間で集中して勉強するという方法で毎日行いました。基本的に教材は使わず、日常生活で分からない単語があればすぐにメモをし、調べたあとにしっかり実践していくことを意識しました。また、韓国人の友達と電話をした際にどんどんその単語を使ったり、鏡に向かって一人で話したものを録音してみたりなど、以上の方法で行いました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

語学勉強は、基本的に②とは変わらない方法で行いましたが、韓国ドラマや YouTube などを見る時や通学時間に聴く KPOP も全てリスニングの勉強だという意識を常にするように変えました。

ビザ申請手続きは、最初自分で直接行って手続きをしようと思いましたが、同志社女子大学が紹介して下さった代行の会社に依頼し、ビザ申請手続きを行っていただきました。費用は確か 5,000～7,000 円くらいでしたが、大阪まで申請し、取りに行く時間と交通費（だいたい計 2 回）を考えれば安いと思います。それに、丁寧で迅速な対応をしていただき、安心して依頼することが出来ました。また、コロナで大阪まで行くことの不安や、大使館とのやり取りの不安もすべてないので、代行会社を利用して良かったと感じ

ています。

④ 現地到着後

仁川空港に誠信女子大学が依頼したタクシーの運転手さんが待っておられるので、まずは探して会います。その後、1 時間半ほどかけて PCR 検査場に行き、検査をした後、寮に到着しました。

オリエンテーションは隔離期間にオンラインで行いました。基本的に韓国語で、あとは英語での説明がありました。私はこの時、半分も理解できず、苦勞したことを覚えています。また、語学堂のレベル分けテストも隔離期間にオンラインで行われました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

対面授業は全部合わせて半年間で 30 回ほどしかなく、基本的にはほぼオンライン授業でした。対面授業の際に学校に行きましたが、授業は小教室で、教室内もトイレも比較的綺麗でした。また、廊下にウォーターサーバーがあり、いつでも飲むことが可能でした。

◆ 授業内容、課題、試験

試験は、小テストが数回、中間テスト(2 日間)、期末テスト(2 日間)が 1 回ずつあり、中間テストと期末テストは対面で行われました。小テストは基本的に先生が事前にどんな感じか教えて下さるのでそれをしっかり準備すれば問題ありません。中間テスト、期末テストは教科書 1 冊と問題集 1 冊が範囲なので、テスト勉強は早めにしたり、出来るだけ効率よく勉強するようにしていました。宿題に関してはほぼ毎日ありましたが全然多くありません。ただ、オンライン授業が多かったせいで、先生からのフィードバックがもらいにくかったです。メールやカトク(カカオトーク)というアプリを通して質問は可能ですが、少し不便に感じました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

正規科目の授業では一回も学校に行きませんでした。同志社女子大学のマナビーと似たような誠信女子大学のサイトから授業資料を事前にコピーし、予習してから授業を受けていました。授業で分からないことがあればすぐに先生にメールで質問しました。中間テスト、期末テストに関しては全てオンラインで、決められた時間に解かなければいけませんでした。

また、もともと正規科目を 3 つか 4 つ履修しようとしていたのですが、予習時間や復習時間、それに加えて語学堂の勉強もしなければならなかったのがしんどくて、結局 2 つに減らしました。そもそもの目的が韓国語の実力をアップさせたいというのが目的だったので、正規科目が負担になるより、語学堂の授業の復習や予習を中心に頑張ることに決めました。その結果、時間的にも心にも余裕ができ、就職活動に時間を使ったり、友

達と出かけたり、半年間楽しく過ごせたのではないかと思います。

◆ 履修科目、授業、レポート、定期試験

・戦略コミュニケーション概論

広告について理解を深めていく授業。また、現代のデジタルに焦点を当て急速に変化する環境の中で、戦略的に広告活動を行う際に必要な知識を習得する授業。

⇒中間テストがない代わりにレポート課題が 2 回あり、期末テストはありました。期末テストは中間テストがなかった代わりに範囲が広く大変でした。

◎この授業は 3 時間しっかり授業をされていたので、予習も復習も正直大変でした。しかし、広告会社に興味があったため、韓国の広告と日本の広告の違いについて学べる絶好の機会だと思い、この授業を選択しました。難しい専門用語もありましたが、今後、自分の将来に役立つことばかりで、履修して良かったと思いました。

・日本の理解

日本の地理、歴史、社会、政治、経済など全般的に学習し、日本の社会の現在の傾向を把握するという授業。

⇒中間テスト、期末テストが 1 回ずつありました。

◎ずっと前から、韓国では日本についてどんな教育をしているのか気になっていて、韓国に留学したら必ず履修したいと決めていました。実際受けてみて、日本では学ばなかった部分まで学ぶことができ、とても興味深かったですし、貴重な経験が出来たと感じています。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ、課外活動、ボランティア活動などしたかったのですが、コロナの影響でするのが難しく結局行いませんでした。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

（寮・ホームステイの決定方法、設備、食事内容、通学距離・時間など）

大学まで歩いて約 10 分のところにある寮に、隔離期間からずっと半年間住んでいました。コロナの影響で基本的に 1 人部屋にされ、最初は寂しかったですが、だんだん慣れていきました。また、最初から 4 人部屋に 1 人だったので広々と部屋を使うことが出来ました。

部屋には冷蔵庫、電子レンジ、トイレ、シャワー、勉強机、クローゼット、下駄箱がありました。テレビがなかったことが最初は不安でしたが、パソコンさえあれば韓国のニュースやドラマも簡単に見ることが出来るので大丈夫だと思います。

⑨ 長期休暇の過ごし方

半年間の留学のため、長期休暇はありませんでした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

コロナの影響で嫌なことばかりでしたが、就職活動においてはすごくありがたかったで

す。韓国にいてもオンラインで日本の学生と同様に受けられるというのがとても良かったです。なので、白シャツだけ現地で購入し、オンライン説明会に参加したりすることが出来ました。

また、韓国で証明写真を撮ると良いと聞いていたのですが、スーツを持って来ていませんでした。ですが、韓国の証明写真はジャケットを無料で貸してくださるところが多いと聞き、自分で探して撮ってもらいました。日本で撮るよりも非常に良いのでオススメです。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

正直、毎日授業も遊びも全部が楽しくて楽しくて、21 年間生きてきた中で一番幸せでした。その中でも、自分の好きな韓国のアイドルの誕生日カフェをめぐるのが楽しかったです。ライブなどのイベントは残念ながらありませんでしたが、韓国にしかない誕生日カフェや広告を見に行くだけでも充分楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

特に苦勞したことは2 つあります。

まずは正規科目の授業です。語学堂の授業ではよく理解していても、正規科目の授業では専門用語などの難しい単語が何度も出てきたり、先生の話すスピードもかなり速いです。そのため、予習復習に最初はとても時間がかかり苦勞しました。また、この大学の正規科目授業は一コマ3 時間であったというのもすごく辛かったです。1 回では理解できないため、授業を録音し、テスト前に聞き直して先生がどの部分を繰り返して話しているのか確認したりしていました。これもまた3 時間かかるのでとても大変でした。もう一つは韓国語のタイピングです。語学堂のテストは学校に行って行われますが、正規科目の定期テストや課題をする際、自分のタイピングの遅さに悲しくなりました。そのため、時間があればゲームを使って少しでも早くタイピングできるように練習していました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

語学堂の授業中に普通におにぎりを食べている人がいてびっくりしました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は語学堂の授業です。とにかく先生がとても親切な方ばかりだったというのが印象的です。勉強以外には交通が便利な上に、どこにでも行きやすかったです。地下

鉄で日本人がよく行く弘大（ホンデ）まで 25 分程度、明洞（ミョンドン）まで 10 分程度です。なので、友達と遊びに行きやすかったですし観光もたくさん出来ました。また、大学の周りは栄えているので出かけなくても近くで遊んだり、必要な物も全て購入出来ました。

悪かった点は特にありません。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

特に役に立ったものは、パソコンです。毎日、オンライン授業がほとんどであったため、パソコンを持っていて本当に助かりました。パソコンだけは絶対に必要です。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

韓国に留学して変わったことはまずは韓国語力です。特に聞く力は 1 番伸びたと思います。逆に、コロナの影響もあり、あまり話す機会が多くなかったため、期待していたほど話す力は伸びなかったのかなと思います。

そして言語以外には、問題が起きても一人で対応する力、一人で最後までやり遂げる力を身に付けることが出来ました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

コロナ禍で、留学するか本当に何度も悩みました。ですが、一度決めた目標や夢を諦める方がもっと後悔します。こんなコロナ禍で留学に行きたくても行けない人が多くいる中で、韓国は唯一行ける国であり、行ける選択肢が目の前にあるならばそれは逃してはいけないと思います。

また、韓国は日本のオンライン授業とは全然違います。ただ受けているだけの授業ではなく、生徒全員が積極的に発言し参加するという形で、基本カメラもマイクもオンの形で行います。オンライン授業だから諦めるのではなく、韓国でのオンライン授業は受ける価値が充分にあると思います。留学を通して言語だけでなく、多くのことを学び、色々なことに挑戦してきて下さい。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

とりあえずは、韓国語能力試験やハングル能力検定の取得に向けて勉強するつもりです。また機会があれば留学も考えていますが、今の考えとしては再来年に一般企業に入社し、その企業が韓国にも進出している企業であれば、その時に韓国語を活かしたいと思っています。韓国語を活かすことに就職活動の視点を絞るのではなく、とりあえずは自分のしたい仕事、興味のある仕事に視点を当てようと思っています。たとえ、韓国語が活かされなかったとしても、この留学経験で得た韓国語以外のスキルが必ず活かされると思っています。

V. 写真



キャンパス内の様子です。
急な坂を登ればこのような
緑の芝生が広がっています。
キャンパスはびっくりする
ほど大きくて立派な建物で
した。



違う大学の日本人の友達と弘大（ホンデ）にある
犬カフェに行きました。久しぶりにかわいいワン
ちゃんたちと遊んだので3 時間近くもこのカフェ
にいてしまいました。



ソウルにある仁王山（イヌアンサン）という高さ 338.2mの山を登ってきました。ロシア人の友達2人と一緒に行って楽しかったのですが、初めての登山ですごく疲れました。



大学の近くにあるベトナム食堂に語学堂のベトナム人の友達と一緒に去了。初めてサルグクス（フォー）を食べたのですが、日本にはない不思議な味でした。美味しかったです。また、食べながら、留学についての悩みを共有したり、ベトナムについて詳しく聞いたり、とても楽しかったです。



これは寮から歩いて 1 分ほどのところにあるキンパ屋さんです。野菜がたくさん入ったキンパ 2,500 ウォンとトッポギ 3,000 ウォンをいつも頼んでいましたが、安くてとても美味しいです。辛いものが食べたくなったときはいつもこのトッポギを食べてストレス解消をしていました。